

アテンダントの熱意、北紀行

ねぶた 制作した立佞武多、津軽中里駅保存へ

8月9日(木)深夜、津軽中里駅にまばゆい光を放つ立佞武多が到着しました。

このねぶたは、津軽半島の魅力を広く紹介する「津軽半島観光アテンダント」6人が作ったもので、「太宰治と津軽」と名付けられた力作です。ねぶたは、最終列車運行後、津軽鉄道の軌道を使って運ばれ、午後10時22分、トロッコに乗り機関車にけん引された立佞武多が、星降る夜空をバックにその姿を現しました。

アテンダントの小枝美知子さんは「ねぶた運行の時も感動したが、また違った感動があった。(運ぶのを)2日前に決定したばかりなのに、これだけの人に集まってもらってうれしい」と話し、世界初?かもしれない列車に乗ったねぶたを、見物客が迎えました。

14日(火)開催のなかどまりまつり小泊地区では、そのねぶたが乳母タケの嫁ぎ先である金物店にも行き、小説「津軽」の名場面が再現されました。



特集 2012 なかどまりまつり

青少年スポーツ国際交流使節団

大きな財産持って帰国

まちの話題

なにもささ踊り 秋田で披露
中里高校生 地域活動に大活躍
森と湖に親しむ集い

お知らせ

敬老会送迎バス小泊から運行
就業構造基本調査
駅ナカ!みゅーじあむオープン